



世界の水事情



上田染谷丘高等学校 1年 松浦 舞花

・テーマ設定の理由

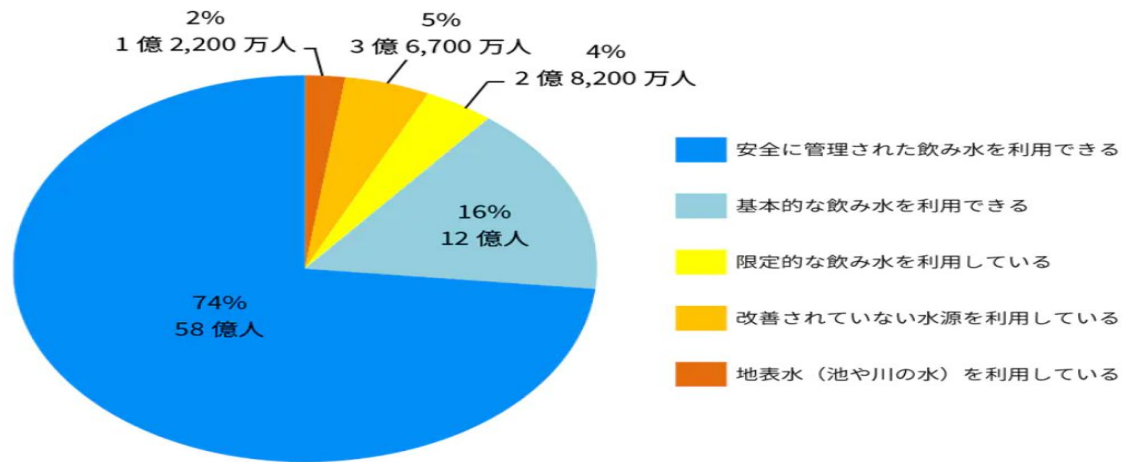
・地理の授業で水を得るために約1日かけている人々がいることを知って、今を変えるべきだと思ったから。

・最近、世界で水の無駄遣いが目立つと感じたから。



・現状(飲み水)

世界の人々の、飲み水へのアクセス状況
(2020年時点)



グラフ © 日本ユニセフ協会
UNICEF/WHO 「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020より作成



・約20億人もの人が安全な水を確保できていない

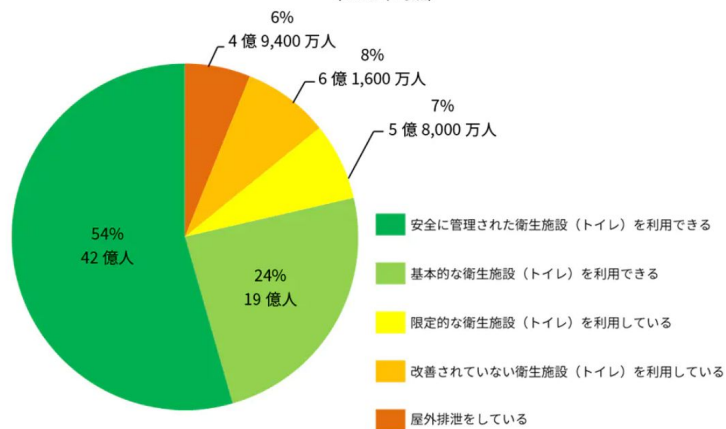
・水の影響で多くの命を落としかねない

(追加情報 毎日約800人の子供が命を落としている)

現状

(トイレ)

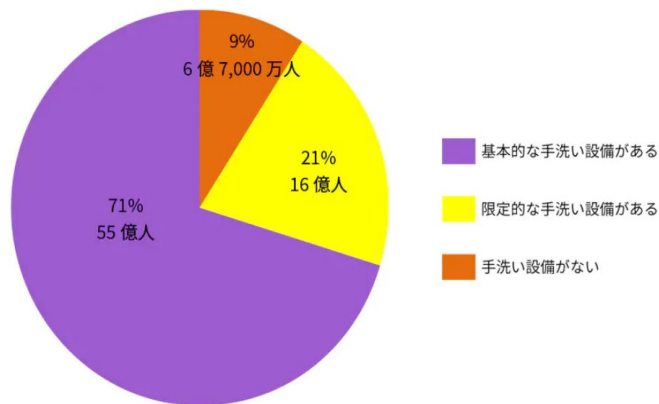
世界の人々の、衛生施設（トイレ）へのアクセス状況
(2020年時点)



グラフ © 日本ユニセフ協会
UNICEF/WHO 「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020」より作成

(手洗い)

世界の人々の、自宅における
手洗い設備へのアクセス状況
(2020年時点)



グラフ © 日本ユニセフ協会
UNICEF/WHO 「Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020」より作成

すべての場所で水の整備が整った環境とは言えない状態

・問題点 まとめると...

- ・これからもっと水の需要が高くなってきて発展途上国では水に 苦しむ人が増えてくる
- ・飲水だけでなく、トイレなど私達にとって当たり前なものを当 たり前に利用できていない地域もある

・課題

- ・汚水の影響で命を落とす人が今後も出て来て しまうこと
- ・水の無駄使いが目立つ世界になってきている こと



・解決策

・水の無駄遣いを減らす

→食器を洗う際、洗い桶に溜めた水に浸けてある 程
度の汚れを落とす (家庭の場合)

→自分達がどれだけの水を使っているか分かる数
値があれば、確認する癖をつける

・苦しむ人を減らす

→支援団体への寄付をする
(3000円の寄付金が汚水を飲水にする浄水剤に変わる)



・提言

・世界中の人に自分達が無駄にした水でどれだけの人が助かるか知ってほしい。

・直接的に自分たちの努力がきれいな水に変わるわけではないが、寄付や日々意識するだけでも変わってくるはずだ。



・感想

・水に苦しむ人々の生活は私達には想像も出来ないほど厳しい状況なことがわかった。意識できる部分から始めていきたい。

・最近SDGsについて考えることが増えたけれど、資料で調べたり、レポートでまとめる機会は無かったので、自分の言葉でまとめられてよかった。

○参考文献

https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act01_03_water.html

<https://www.unicef.or.jp/>

